

令和 2 年 11 月 5 日
旭川信用金庫
北洋銀行
日本政策金融公庫札幌支店

北海道産大豆の付加価値向上を目指す事業を金融機関 3 行が支援
～旭川信用金庫、北洋銀行及び日本政策金融公庫が連携～

<ポイント>

- 温度に加えて湿度管理も可能な倉庫の建設による大豆の付加価値向上
- 「安心」「安全」な道内産大豆の取扱量増加による地域貢献
- 旭川信用金庫（略称：旭川信金）、北洋銀行及び日本政策金融公庫（略称：日本公庫）が連携し、地域の農業・食品産業を支援

株式会社藤井（本社：旭川市、代表取締役 藤井英樹氏、雑穀・米穀卸）の大豆保管用倉庫が令和 2 年 11 月 2 日に竣工しました。これにより、温度だけでなく、湿度管理も可能となり、主要商品である大豆の変色、しわの抑制、皮切れやひび割れの防止ができるため、大豆の付加価値向上が可能になります。また、保管容量も増大するため、北海道産大豆の取扱量を増加させることによる地域貢献も促進します。

株式会社藤井ではこれからも取引先のニーズに沿えるよう、仕入から調整を経て、販売までの一連のトレースや、品質管理をより一層徹底することで北海道産農産物のブランド価値向上に努め、「安心・安全」をお届けする考えです。

この事業は、旭川信金、北洋銀行及び日本公庫が協調して支援をしたもので、3 者が持つ地域に根差したネットワークと農業や食品産業向け融資のノウハウを融合することで、加工流通業者のニーズに応えたものです。

旭川信金、北洋銀行及び日本公庫は、今後も連携し、地域の農林漁業や加工流通業を支援する取組みを推進してまいります。